

Technical Newsletter

#tnl2019-0008j-rev1

1 / 5



DFG8540,8560／DFP8140,8160 定期交換のお願い T2 パッド裏面洗浄【特別付属品】のブラシおよびレベリングストーン

対象機種

DFG8540, DFG8560, DFP8140, DFP8160

1年ごとの定期交換のお願い

ブラシ、およびレベリングストーンの経年劣化に起因する洗浄不足を予防するため、1年ごとの定期交換を推奨します。

定期交換となることでお客様にはご不便をおかけ致しますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

交換部品のパーツ No.

機種ごとに交換部品のパーツ No.が異なります。

また、特殊仕様でブラシの代わりにスポンジが搭載されている場合がありますので、ご注意ください。スポンジに関する詳細は、弊社にお問い合わせください。

【DFG8540 /DFP8140】

品目	DISCO Part ID	個数
ブラシ	BRUSH LJLH-910584-0	1
レベリングストーン	WASHING BOARD LJAH-010006-1	1

【DFG8560 /DFP8160】

品目	DISCO Part ID	個数
ブラシ	BRUSH LJSH-910080-0	1
レベリングストーン	WASHING BOARD LJSH-010000-1	1

交換手順は、機種間による違いはありません。次ページ以降をご参照ください。

お問い合わせ

本件についてのお問い合わせは、弊社営業担当またはカスタマーエンジニアまでお願いいたします。

T2 パッド裏面洗浄ユニットのブラシ／レベリングストーン の交換

必要な工具

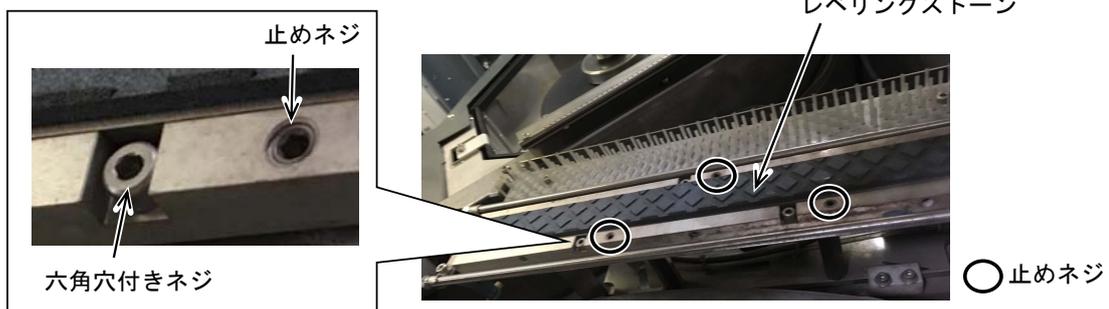
六角レンチ

T2 パッド裏面洗浄ユニットのブラシ／レベリングストーンの交換手順

注 意

レベリングストーンを交換するときに、下図の 3 か所の止めネジを緩めたり、調整したりしないでください。

下図の 3 か所の止めネジはレベリングストーンの水平調整をおこなうためのものです。止めネジを調整すると、レベリングストーンが T2 パッドに当たらず、T2 パッドを適切に洗浄できないおそれがあります。



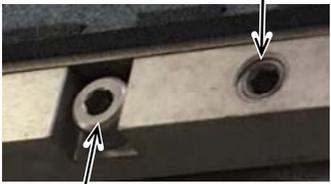
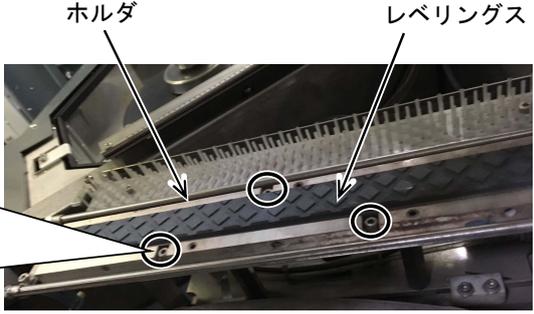
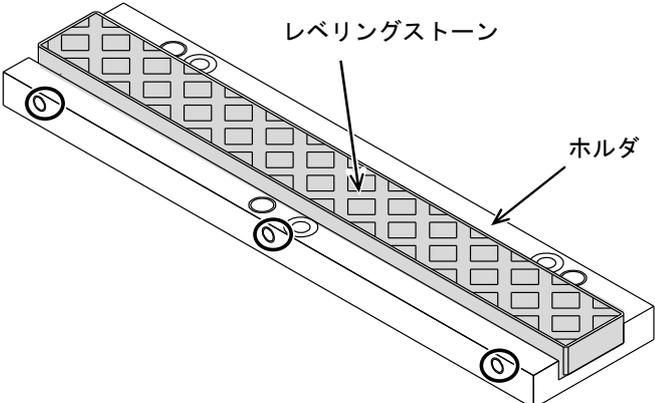
ステップ	手順
1	Z1 軸側にハンディパネルを接続します。
2	ハンディパネルを使って、ウェーハ洗浄ユニットのブラシを中央（洗浄位置）に移動させます。 →洗浄ユニットの操作方法については、メンテナンスマニュアルの G 章 2-3-8 項 [洗浄ユニットの操作画面] を参照
3	ハンディパネルで、搬送アーム 2 の操作画面を表示します。

R	#300 T.ARM2/ INITIAL	<P	N>
Z: ###.## mm	T: ###.## °	VAC: ### kPa	
INITIAL	VACUUM ON	VACUUM OFF	
	BLOW ON	BLOW OFF	
SEQUENCE	WATER ON	WATER OFF	

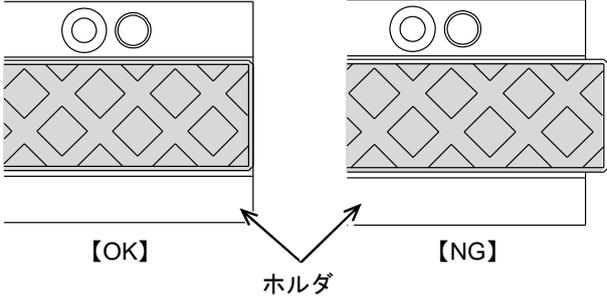
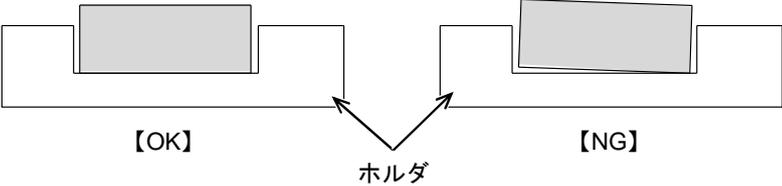
T2 パッド裏面洗浄ユニットのブラシ/レベリングストーンの交換手順 (つづき)

ステップ	手順																									
4	<p>「>P」 ボタンを 2 回押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の画面が表示されます。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>R</td> <td>#305</td> <td>T.ARM2 / P.WASH.OPT.2</td> <td><P</td> <td>N></td> </tr> <tr> <td colspan="5">Z: ###.## mm T: ###.##° VAC: ### kPa</td> </tr> <tr> <td>MOVE T SCRUBBING</td> <td>MOVE T ESCAPE</td> <td>MOVE T BRUSHING</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>STONE SET</td> <td></td> <td>BRUSH SET</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>WASH SEQ (STONE)</td> <td></td> <td>WASH SEQ (BRUSH)</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	R	#305	T.ARM2 / P.WASH.OPT.2	<P	N>	Z: ###.## mm T: ###.##° VAC: ### kPa					MOVE T SCRUBBING	MOVE T ESCAPE	MOVE T BRUSHING			STONE SET		BRUSH SET			WASH SEQ (STONE)		WASH SEQ (BRUSH)		
R	#305	T.ARM2 / P.WASH.OPT.2	<P	N>																						
Z: ###.## mm T: ###.##° VAC: ### kPa																										
MOVE T SCRUBBING	MOVE T ESCAPE	MOVE T BRUSHING																								
STONE SET		BRUSH SET																								
WASH SEQ (STONE)		WASH SEQ (BRUSH)																								
5	<p>「MOVE T ESCAPE」 ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬送アーム 2 パッドがチャックテーブル側へ移動します。 																									
6	<p>「BRUSH SET」 ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラシが回転し、ブラシ面が上側を向きます。 																									
7	Z1 軸側の研削部サイドカバーを開きます。																									
8	<p>六角穴付ネジ (M4×2 本) を外して、ブラシを取り外します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>六角穴付ネジ ブラシ 六角穴付ネジ</p> </div>																									
9	六角穴付ネジ (M4×2 本) で、新しいブラシを取り付けます。																									

T2 パッド裏面洗浄ユニットのブラシ/レベリングストーンの交換手順（つづき）

ステップ	手順
<p>10</p>	<p>六角穴付ネジ（3本）を外して、レベリングストーンをホルダごと取り外します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 六角穴付ネジは、DFG8540/DFP8140 の場合は M5、DFG8560/DFP8160 の場合は M4 です。 六角穴付ネジの隣にある止めネジは調整しないでください。止めネジはレベリングストーンの水平調整をおこなうためのものです。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>止めネジ</p> <p>六角穴付きネジ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホルダ</p> <p>レベリングストーン</p> <p>○六角穴付ネジ</p> </div> </div>
<p>11</p>	<p>ホルダ側面の止めネジ（3本）を緩めて、レベリングストーンを取り外します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 止めネジは、DFG8540/DFP8140 の場合は M5、DFG8560/DFP8160 の場合は M4 です。 <div style="text-align: center;">  <p>レベリングストーン</p> <p>ホルダ</p> <p>○止めネジ</p> </div>

T2 パッド裏面洗浄ユニットのブラシ/レベリングストーンの交換手順 (つづき)

ステップ	手順
12	<p>新しいレベリングストーンを取り付け、ホルダ側面の止めネジ (3 本) を締めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> レベリングストーンの側面とホルダの側面がフラットになるように取り付けてください。 <p style="text-align: center;">レベリングストーンを上から見た場合</p> 
13	<p>側面からレベリングストーンを見て、レベリングストーンの下面がホルダに接しているかを確認します。</p> <p style="text-align: center;">レベリングストーンを側面から見た場合</p>  <p>レベリングストーンの下面がホルダに接していない場合 レベリングストーンをホルダから外して、再度取り付けます。</p>
14	六角穴付ネジ (3 本) で、レベリングストーンホルダを取り付けます。
15	Z1 軸側の研削部サイドカバーを閉じます。
16	イニシャルを実行します。
17	<p>ハンディパネルを使って、搬送アーム 2 のパッドの裏面洗浄 (シーケンス動作) を実行します。</p> <p>→搬送アーム 2 の操作方法については、メンテナンスマニュアルの G 章 2-3-4 項 [搬送アーム 2 の操作画面] を参照</p>
18	洗浄結果に問題がないことを確認します。
19	ハンディパネルのコネクタを外します。